

【静岡地域交流会イベント報告】

ひまわり集会のステージ電力を 100%太陽エネルギーで実現

11月23日、静岡市の駿府城公園で、原発反対・浜岡廃炉を求める「ひまわり集会」が開催され、同集会のステージ音響で使用する電力の供給を、PV-Net 静岡地域交流会のメンバーが担いました。

10月末に三島共立病院で行われた「健康まつり」でも、独立型太陽光発電から電力の供給を行ったPV-Net静岡でしたが、今回はさらに大きな容量での挑戦です。システムは、5枚・450Wの太陽光パネルに、12V100Ahのバッテリー6個を並列に接続(7.2KWh)。発電して貯めた電気は1800Wのインバーターで100Vに変換して使用しました。

幸い天候にも恵まれ、3時間あまりの集会の最後まで、電源は一度も落ちることはありませんでした。主催者挨拶では、「今回の集会で使用している電力は、NPO 法人太陽光発電所ネットワークの協力で、太陽光のエネルギーのみで発電されたものである」との報告があり、参加者からは驚きのどよめきと、大きな拍手が沸き上がりました。

今回の取り組みは、1枚パネル(独立電源)は、ステージなどへの電力供給でも十分に活用できるという確信が得られ、次への夢が広がる1日となりました。

